

② 難治性膀胱出血患者の血尿に対する 漢方薬の使用経験

関東中央病院
大矢 和宏

【対象と方法】

難治性膀胱出血のある10例(58-88歳:平均76.8歳、男性5例:女性5例 膀胱癌1例、カテーテル関連尿路感染による肉眼的血尿3例、慢性膀胱炎による肉眼的血尿2例、膀胱癌術後肉眼的血尿1例、BCG膀胱注入後の肉眼的血尿1例、直腸癌・膀胱浸潤1例、抗癌剤による出血性膀胱炎1例、計10例)に対してツムラ芎帰膠艾湯9g分3食前を単独投与した。なお、効果のあった症例は継続投与とした。

【結果】

悪性腫瘍併存症例を除く、7例で肉眼的血尿の消失を認めた。なお、4例に抗菌剤、4例に止血剤が芎帰膠艾湯投与前に投与されていたが、投与後はいずれも併用されておらず、全例が現在も投与継続中である。バルーン留置中の4例では何れも有効又は著効であった。抗凝固剤投与中の2例においても著効であった。

【考察】

ツムラ芎帰膠艾湯は痔出血を適応とする漢方方剤であるが、過多月経、大腸憩室出血等に用いられた報告があるが、検索した限りでは泌尿器科領域の出血については佐井の腎出血、香村の血精液症・尿道出血に対する報告のみであった。芎帰膠艾湯は代表的な補血剤である四物湯に阿膠、艾葉及び甘草を加えた方剤であり、阿膠と艾葉には止血効果があり、膀胱出血にも有用である可能性があると思われた。泌尿器科領域における芎帰膠艾湯の報告は検索した限りでは、佐井雄一「漢方治療が奏功した腎出血の2例」香村衡一「芎帰膠艾湯が有効であった血精液症が原因と考えられる尿道出血を伴う痔出血の1例」のみであった。芎帰膠艾湯の構成生薬は地黄、芍薬、当帰、甘草、川芎、艾葉、阿膠であり、構成生薬の1つである阿膠はロバの皮を煮詰めたゼラチンを用いた生薬で、止血効果の一部はゼラチン(コラーゲン)の止血作用に関連すると言われている。また、コラーゲンは血小板凝集や凝固系の最初の刺激物である。ただし、経口投与された阿膠の止血作用にこの機序がどの程度関与しているのかは明らかにされていない。

【結語】

今回、少数例ではあるが、難治性膀胱出血にツムラ芎帰膠艾湯を投与し、良好な結果を得られたので報告する。